

トレンズ'96-'97 ネオラステック



## ■ コンピューターによるテキスタイルデザインの開発

講師 梅田幸男氏

### 1.ファッション新時代意識

皆さん、「男はつらいよ」という映画をご覧になった方おられますか…？  
 以外に少ないですね。この映画にでてくるフーテンの寅さんは、いま我々が忘れかけている人情とか、弱いものに対する思いやりとか、また自然に対する感性など実に素晴らしい。寅さんが長く九州や北海道などに旅をして、久しぶりに柴又に戻ってきてその地方の旅話をするんです。「うらぶれた山間の村はずれ、夕方になると小さな農家にボツンとひとつ灯かりがついて年老いた夫婦がいるりを前にささやかな夕食をしている…」といった情景を寅さん独特の語りで、情緒豊に話します。情緒とペースですね。自然への郷愁が彼の一つ一つの言葉に含まれている。いま、テキスタイルデザイナーに一番大切なものは感性と言われています。「感性」とはなんだろう。一緒に考えてみたいんです。

今日、本題のレジュメに「ファッション新時代意識」ということからいろいろ項目がありますが、本当に言いたいことは、「いま、なぜコンピューターなのか。」コンピューターを使ってどうテキスタイルデザインと取り組んでいくかということだと思えます。またこれらに加えて「ファッションとは何か」「感性」とは何かを確認しておきたい。感性とは広辞苑によると「外界の刺激に応じて感覚、知覚を生じる感覚器官の感受性」「外界の事物や現象についての感覚的直感を心が受け止める能力」とある。つまり私達をとりまく自然に対する感受性ということです。しかし最近ではセンサー(感知)の時代なんて言われている。トイレのドアを開けると電気がつく。電話が鳴るとテレビの音が小さくなる。ガスが漏れるとビコビコが鳴る。人が気がつかなくてもセンサーがすべてやってくれる。人間の感覚から感性を削り取っているんです。今日は1月26日です。時計や新聞、テレビやラジオ、カレンダーで判ります。いま沈丁花の蕾が膨らみはじめています。梅もほころびはじめた。4月になれば桜も満開になる。しかし梅や桜、沈丁花らに時計もラジオもカレンダーもない。しかし、彼らは1年間のサイクルを繰り返すことなく正確な暦で繰り返す。私達から時計や新聞、ラジオやカレンダーを取り上げたなら、小鳥や小さな虫達、野辺の草々のように正確な1年のサイクルを読み取ることが果たしてできるだろうか？私達は、自然と共に生きる生物としての本能や感性はさまざまな植物、小さな虫や小鳥よりもどれだけ劣っているかを考え直す必要がある。しかし現在我々を取り巻く環境は、さきほど申し上げましたが“感性の時代”というより“感知(センサー)の時代”と化しつつある。いま、まさに本当の“感性”とはなにか、自然とはなにか、そしてファッションとはなにか、を見直す時期だと思えます。



トレンズ'96-'97 マユ イメージスワッチ



今日最初のレジュメにある「ファッション新時代意識」という問題をこうした観点から考えてみますと「ファッション」とは一体何でしょう。皆さん「ファッション」ってなんですか？巷ではいろいろと言われてます。自己表現だとか、庶民に変化を与えるものだとか、価値観の移り変わりだとか、皆さんはどのようにこのファッションという言葉をとらえていますか。ある有名なデザイナーはファッションとは、「ノンフェンランゲージ」「垣根のない言葉」と表現しています。このまえ学生に同じ質問をしたらしい言葉が返ってきました。ファッションとは“地球を写す鏡”だということです。いい表現でしょう。

私はコンピューターを使い始めて、また大学で学生達とデザインを勉強しながら「ファッションとはなにか」と考えた時、ファッションとは「いろはにほへ」とはなかったかと思っただけです。これが今日私が言いたい「ファッション新時代意識」なんです。最近の若い方は「いろはにほへ」を最後まで言えないんですね。言えないことが今の若い方なのです。デジタル人間です。言える人はアナログ人間です。もう少し詳しく言いますと、いろはにほへと、とは「諸行無常」ということであり、「諸行」とは消滅変化する一切の現象、「無常」とは万物は常に移り変わって止むことがないということなんです。今年、美しく咲き誇った桜の花は、去年の花と同じに見えてもまったく別の花である。「色は匂えど散りぬるを…」とは「いま」「現在」美しい花は咲き誇っているけれども、必ずいつかは散っていくものだと…。そして、「我が世誰ぞ常ならむ…」とは、どんな人でもいかなる物でも“常”ではありえない、諸々なる行は「無常」であるという。まさしくファッションとは生死流転を繰り返す、新陳代謝を繰り返すことなんです。小倉百人一首にある小野小町の「花の色はうつりにけりないたづらに、わがみよにふるながめせしに」なのです。今日は若い女性の方がいっぱい来られていますが、今が花なんです。ファッションとは「いろはにほへ」とあるという、私がコンピューターを始めてからの持論なのです。

### 2.アートとデザインについて

コンピューターを使う前にコンピューターで創作した物がアートであるかデザインであるか、こういう問題も何時も言われてきました。アートとデザインを考えてみると明確に分けられるところもあるし、そうでないところもある。「アート」と「デザイン」の違いについてどう思われます？私の考えはアートは100m徒競走、デザインは400mリレー。テキスタイルデザインを例にとると、まずデザイン画がある。それを型屋さんに型彫りをする。プリンターへ持っていき、プリントする。いろいろ仕上げで最終製品に持ってゆく。すべてリレーなんです。一方アートはヨーイドンと始まって最初から最後まで自分一人で成し遂げてしまう。アーティストのクライアントは自分自身。デザイナーのクライアントは他人です。アートは自分のお金で作品をつくり、デザインは他人のお金で商品をつくるんです。アート(ART)と書きますね。ARTの前後にEHを付けると“EARTH”地球となる。地球の中にあるものすべてがアートだとも言えるんです。これは英語的発想です。